第３学年６組保健体育科学習指導案

 指導者　教諭　末澤　和士

１　単元名　球技　ソフトボール（ベースボール型）

２　単元について

（１）　本単元は、学習指導要領のＥ(1)球技ウベースボール型のソフトボールを扱う。この単元では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、捕球時におけるグラブ操作や定位置から各自の特性を生かした守備範囲のボール操作で攻防を行い、得点を競う。攻撃と守備それぞれにおいて一球一球で状況が常に変化し、瞬時の判断と仲間と連携したプレーが、攻撃面では進塁や得点につながったり、守備面では出塁や得点チャンスを防いだりすることに、この種目の楽しさや作戦成功の喜びを味わうことができる。

そこで、本単元では、付けたい力を以下の３点とする。

①　安定したバット操作とグラブやボール操作を用いて、ゲームの攻防を展開する力。

②　男女の性差やソフトボールの経験値の差を考慮して、練習やゲームの行い方に工夫を加える力。

③　練習やゲームの場面で、作戦や戦術を理解し、仲間にアドバイスやポイントを伝える力。

この単元を通して、練習やゲームの中で互いの能力差や技術面の差を助け合い、補い合おうとする心や、練習やゲーム活動の場やルールを工夫して、運動やスポーツへの積極的な参画機会を作り出す意識の高まりがあると考える。

（２）　本学級33名の生徒は、第１・２学年でソフトボールを経験し、基本的なグラブ操作、ボール操作、男女別でゲームを行う方法を身に付けている。その中で、打球を前に飛ばし、走者をどんどん進めることで得点をを競い合う楽しさに気付いている。これまでの他の球技の学習において、チームの仲間と話し合って作戦を立てたり、課題を協働的に解決したりする学習は行っているものの、積極的に意見を出し合ったり、解決策を進んで見つけて試したりするまでには至っていない。

男女の仲は良く、協力し合った活動ができる。そこで、男女混合のチームを形成して、教え合い、学び合う場の中で、男女ともに技術やルールの理解度、そして楽しむ雰囲気が向上することを期待したい。

（３） この単元を指導するにあたって、次の点に留意したい。

・　映像資料や動画撮影を活用して、技術の向上やルールを視覚で把握できるようにする。

・　チームの課題解決に向かって、自分たちの特徴を生かした攻め方や守り方を考え、チームでの連携や仲間づくりができるようにする。

・　考えた攻め方を伝え合ってゲームを行い、チームで連携して得点を取ったり、攻撃を防いだりすること楽しさ、仲間との信頼関係の高まりを確認できるようにする。

３　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・戦術や作戦に応じて、攻防のポイントに気付き、学習した具体例を挙げている。そして、練習やゲーム中の技能を観察したり分析し、アドバイスを言ったり書き出したりしている。・安定したボール操作を行い、バット操作や捕球、送球ができる。 | ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。・作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。 | ・ソフトボールの学習を自主的に取り組もうとしている。・相手を尊重するなどのフェアプレイを大切にしようとしている。・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。・健康と安全を確保している。 |

４　学習指導計画

（１）　オリエンテーション、基本のボール操作・・・・・・・・・１時間

（２）　打撃練習、捕球と送球練習　　　　　　・・・・・・・・・２時間

（３）　男女別のゲーム、ゲームの中で技術の振り返り　・・・・・・・・・２時間

（４）　課題や出来栄えの確認、男女混合ゲーム・・・・・・・・・２時間（２時間目／２時間中）

５　本時の学習指導

目標　　攻防の作戦についてアイデアを出し合い、仲間と連携してゲームを楽しむことができる。

（２）　学習指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 生徒の予想される反応 | 指導上の留意点 |
| つかむ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　つかう　　くらべる　　　つなげる　　　かえるつかむ　　　　つかう　　　　　　くらべる　　　　　　つなぐ　　　　　　　かえる | １　本時に頑張りたいことを話し合う。(1)　準備運動を行う。(2)　前回試合から個人課題を確認する。**学習課題　　　　　　　　チームで攻防の作戦を考え、ゲームを楽しもう。**２　チームで作戦を立て、その練習をする。(1)　タイブレークで、有効な攻撃パターンを確認する。(2)　守備面で効果的にアウトを取る連携プレイを確認する。３　チームで練習したことを生かして対戦をする。(1)　攻撃に関する作戦を実行する。(2)　守備に関する連携プレイを実行する。４　本時の学習を振り返る。(1)　作戦の出来栄えをもとに、成果と課題について話し合う。(2)　振り返りカードに記入する。**まとめ　　　仲間で出し合った作戦でゲームに挑戦すると、ソフトボールがより楽しくなる。** | ・　準備運動を入念にしよう。・　守備面で貢献できていたな。今日は攻撃で活躍したいな。・　打撃の時は、３塁方向に打たないようにするといいな。・　バッティング練習で、打つ方向をコントロールしてみよう。・　ノックを打ってもらい、捕球と送球の連係プレーを確認するぞ。・　みんなの作戦を比べて、できそうなものを見つけるぞ。・　作戦に応じた動き、練習したことに挑戦するぞ。・　個人的な目標も達成できるよう、挑戦するぞ。・　攻撃パターンをいろいろと試すことができたな。・　前回の試合よりも、チームに貢献することができたな。・　個人的な目標が達成できたな。 | ・　基本技術のポイントを、タブレット端末を使用して意識付けする。・　守備面か打撃面で目標をもたせ、積極的な活動の意欲付けをする。・　打撃面、走塁面、守備面の作戦例示をする。・　作戦を考える時間を設け、タブレット端末を使用して、一人ひとりの考えを集める。・　グループで作戦をシェアして、実行内容を決定させる。・　チーム内で練習の目的を共有されるように声をかける。・　効果的な練習ができているグループを称賛し、モデルとして他のグループに披露する。・　タイブレークでゲームを進めさせる。・　男女混合でゲームをする際のローカルルールを適応し、ゲーム運営させる。・　他のチームの作戦も対戦中に分析するように声掛けする。・　作戦の手応えや課題を振り返る場を設定する。・　自分たちが作り出した作戦でゲームができたことに満足感をもたせるよう声を掛ける。 |

（３）　評価

ここでは、学習カードの記述内容で、「思考・判断・表現」の評価を行う。

Ａ：　自己の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題解決に有効な練習方法や戦術のアイデアを表現し、仲間に伝えている。

Ｂ：　自己の技術的な課題やその課題解決のための練習方法について、学習カードに記入している。

Ｃ：　自己の技術的な課題についてのみ学習カードに記入している。

本時の学習指導

○目標　　　　　人類とスポーツの変容の関係を学ぶことで、スポーツに対する関心を高め、一人一人がスポーツに目的をもって関わろうとする姿勢を養う。

　○学習指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 生徒の予想される反応 | 指導上の留意点 |
| １　スポーツの競技会や歴史に関する導入問題を解く。・世界で一番有名なスポーツ競技会は何？・ラグビーと起源が同じのスポーツは何？・日本で最初のスポーツは何？２　オリンピックはいつから始まったのかについてタブレットで調べる。**学習課題　　　歴史の中で人間はスポーツとどのように関わってきたのだろう。**３　古代オリンピックよりも前のスポーツについてタブレットで調べる。４　スポーツの世界への広がりについて、野球・サッカー・バスケットボールを題材に学ぶ。５　現在は何のためにスポーツをするのか考える。６　本時の振り返りを行う。 | ・　オリンピックは僕でも聞いたことがあるな。・　アメリカンフットボールかな？・　剣道や相撲かな？・　1898年のパリオリンピックが始まりだな。・　古代オリンピックって何だろう。・　数千年以上前から、人間は楽しみのために運動をしてきたんだな。・　相撲は神話や豊作への祈りから始まったんだな。・　すべて19世紀に統一ルールができているな。19世紀に何かあったのかな。・　健康のため。・　競争の楽しみのため。・　自然を感じるため。・　スポーツはそれぞれの国や世界の歴史の中で大きく変化をしてきたんだな。・　今のスポーツは何を目的としているのだろう？ | ・　生徒の関心を高めるよう東京オリンピックのエピソードを紹介する。・　古代オリンピックと近代オリンピックの違いについて説明する。・　スムーズに調べが進むよう、検索のキーワードを生徒に提示する。（例　スポーツの歴史　古代ギリシア・ローマ・エジプトのスポーツ　相撲の歴史　等）・　産業革命によって余暇が生まれ、冷酷主義によって文化が伝わったことを説明する。・　各種の写真を見せながら生徒にヒントを与える。・　宗教的行事や人間の欲求からスタートしたスポーツが歴史と関係しながら目的を変えたことを総括として生徒に示す。（軍事教練やエリート育成、ビジネスや個人の幸せ、健康のため） |